

# 緑化だより

No.105 平成27年5月号



キリシマツツジ

- 緑化センターの希少な樹木(13)
- 野鳥の世界(ヤマセミ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# 緑化センターの希少な樹木

## No. 13 ナンジャモンジャとカシワ

ナンジャモンジャは正式名がヒトツバタゴです。明治の昔、東京青山練兵場の道路沿いにヒトツバタゴの大木があったといわれます。当時白い花を枝いっぱい咲かせる珍奇な植物で名前がわからず、だれが言うともなしに「なんじゃもんじゃ」と呼ばれたのが別名のいきさつようです。花期には雪が降り積もったように木全体が真っ白になります。属名の *Chionanthus* は「雪花」の意味でそのことを象徴しています。長野県、岐阜県、愛知県の一部と長崎県の対馬のみにしか自生しない珍しい木です。緑化センターでは植栽された雄木と雌木が芝生広場と多目的広場にありす。

カシワは、5月5日の端午の節句にお供えされる“かしわ餅”に葉が使われるのでおなじみの木とされますが、最近のかしわ餅は葉が丸っこいサルトリイバラの葉が使われており、そちらの方をカシワの葉だと思っておられる方もいらっしゃるかもしれません。冬になっても一部の葉が枯れたまま落葉せずに枝に残る性質が強く、子孫繁栄を象徴する縁起の良い木とされます。苗畑の左の端に1本あります。(川上)



ヒトツバタゴ(ナンジャモンジャ)



カシワ

# 野鳥の世界

## ヤマセミ

巣作り・子育てと活発に動きまわる早春から今の季節、観察するのに一番適しているかもしれません。ヤマセミが水面に伸びた枯枝に停まっている姿はとても情緒があります。頭上の冠羽の形を際立たせる白と黒の鹿の子模様は、いつ見ても美しく感じます。

本来は太田川上流に多く棲み、テリトリーにしているようですが、センターへも川沿いに上ってくるようになり、砂防堰堤の池やロマンス池などでその姿が時々見られます。冬期、三篠川や根の谷川の水量が減少し、魚群がより深い場所に移るためと考えられます。水面上を繰り返し飛びながら餌を探しますが、その近くに崩れて山肌が見える斜面があり、巣穴のつくれそうなスペースがあることもテリトリーの条件になっているようです。カワセミと活動域が重なっていること多いのですが、カワセミより体が



ヤマセミ

数倍大きいため、ダイビングやホバリングもダイナミックで見ごたえがあります。又、餌になる魚もウグイ、アユ、オイカワなどの大型が狙われるようです（吉見）

## 病虫害の話

### ヘリグロテントウノミハムシ

モクセイ科のヒイラギ、ヒイラギモクセイ、キンモクセイや、ネズミモチなどの生垣が、ボロボロの葉をつけているのを見かけることがあります。

気温が上がり、新芽がではじめる4月中旬～5月上旬、食害された葉をよく見ると、頭は黒く体が乳白色の1cm弱くらいの幼虫や黒っぽいテントウムシに似た虫を見つけることがあります。成虫は、気配を感じるとピヨーンとはじけるように飛んで逃げてしまいます。



ヘリグロテントウノミハムシの成虫

他にも、野菜、草花、樹木を食害するノミハムシの仲間は、ミのように飛び跳ねるのが共通の特徴です。

ヘリグロテントウノミハムシの発生は年1回。落ち葉の中で越冬した成虫は春先、木に登り新芽や葉に産卵し、10日くらいで孵化します。葉の裏に潜んでいた幼虫は、1か月前後葉の中を動きながら食害しますが、終齢幼虫になると、表面にでて、頭部だけを葉の内に潜らせて摂食することもあります。その後、幼虫は、土にもぐって蛹になり、羽化して地上に現れます。羽化直後の成虫は活発に葉を摂食しますが、真夏以降になると量は低下します。成虫の寿命は長く、越冬した成虫は次の年の秋まで生き残るものもあります。テントウノミハムシの産卵は春にだけ行われますが、夏～秋にかけても土用芽に産卵が見られることがあります。

防除としては、下記の方法があります。

- ①早春の頃、土壤に浸透移行性のある殺虫剤を散布。
- ②4月始め、新芽が出る前に浸透移行性のある殺虫剤を散布。
- ③幼虫や成虫を見つけたら接触毒や食毒作用のある殺虫剤を散布。
- ④幼虫が蛹化する6月頃、冬期の成虫越冬時に樹下を清掃

殺虫剤には、次のようなタイプがありますので、目的に応じて選んでください。

浸透移行性(剤)：植物の根や葉から吸収されて作用し、長期間効果が持続する。

接触毒(作用)：害虫の表面に付着して体内に入り作用するもの。

食毒(作用)：餌とともに体内に入り、作用するもの。

また殺虫剤の種類によっては複数の作用を示すものもあります。詳しくは薬剤の販売店などで確認の上、ご使用ください。(山根)

## 研修会のご案内

- |   |  |
|---|--|
| ○ 5月 2日(土) 『5月の自然探勝』<br>山の緑について考えてみよう。                                      | 10:00～12:00 管理事務所前 集合<br>講師：環境省希少野生動植物<br>種保存推進員<br>吉野 由紀夫 |
| ○ 5月 14日(木) 『春のバードウォッチング』<br>夏鳥の営巣環境を観察します。<br>自由参加(無料) 双眼鏡持参               | 10:00～12:00 管理事務所前 集合<br>講師：日本鳥類保護連盟 会員<br>吉見 良一           |
| ○ 5月 15日(金) 『平和公園自然探勝』<br>平和の願いを託された木々を巡ります。<br>※ 定員に達したためメ切りました。 無料        | 10:00～12:00 原爆ドーム前 集合<br>講師：ひろしまピースボランティア<br>恵美 勇作         |
| ○ 5月 23日(木) 『アロマテラピー<br>初夏のレシピ』<br>アロマで憂うつな梅雨も快適に<br>※ 要予約(先着20名)、材料費1,000円 | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：オリエンタルアロマテラピー協会<br>認定講師 新酒 治代     |
| ○ 5月 24日(日) 『フウランを育てよう』<br>着生ランの育て方<br>※ 要予約(先着30名)、材料費1,000円               | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：森林インストラクター<br>長井 稔                |
| ○ 5月 27日(水) 『コケの観察会』<br>コケ類、地衣類、藻類の野外での見分け方                                 | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：広島大学名誉教授<br>関 太郎                  |
| ○ 5月 29日(金) 『庭木の病虫害教室』<br>この時期増える庭木の病虫害対策を学びます                              | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：樹木医 菅 信貴                          |
| ○ 5月 31日(日) 『新緑の自然観察会』<br>花の作りを観察しよう  | 10:00～12:00 管理事務所前 集合<br>講師：森林インストラクター<br>駄賀 恒男            |
| ○ 6月 2日(土) 『庭木の手入れ』<br>剪定の基本と松の緑摘みを学びます。                                    | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：NPO法人 樹木医ひろしま<br>工藤 徹             |

## ♪☆ご案内・お知らせ☆♪

### ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

#### ・バードカービング作品展

5月2日(土)～6月14日(日)

(ボード展示)

#### ・奇妙な形のキノコ写真展

5月2日(土)～6月14日(日)

### お知らせ

～春のおでかけキャンペーン～

～5月24日(日)

緑化センター・森林公園

両園でスタンプを集めて景品ゲット



奇妙な形のキノコ写真展より

### 第14回ひろしま「山の日」県民の集い

6月7日(日)